

子どもがいると

仕事ができない

と思っ
て
い
ま
せ
ん
か？

谷井
道代

◆はじめて

「こんにちは、税理士みいです」

これは、ブログの出だしに私が必ず書くあいさつ文です。子どもが小学3年生になったころこれに変更しました。それまでは、「こんにちは、ママ税理士みいです」と書いていました。どこが違うかって？「ママ」という言葉です。「ママ」と付いていると、なんとなく腰掛けっぽく感じるようになってきました。さすがに小学3年生になると「ママ」というのは違う気がするし、かといって「お母さん」とか「おかん」ではピンとこない。そこで、思い切つて外してみました。言葉の問題だけではなく、自分の覚悟の表明でもあります。

私は、「仕事と子育てをうまく両立している」とよく人に言われます。表面上はうまく両立しているように見えるかもしれませんが、自分としては適当に下手を打たないレベルでやりくりしている感じですよ。そもそも私は器用な方ではないです。私のように不器用な人にこそ、この本を読んでいただいて、不器用なりのやりくりの仕方に気づいてくださるとうれしいです。

なんとなく必死でこなしている仕事と子育ての両立。実は、秘められた作戦のようなものがあるので。その作戦を垣間見ていただいて、うまく仕事と子育てを両立していきたいと思っていच्छやる方

の参考になればと思っています。

私は税理士であり、私の周りで仕事と子育てを両立している女性は全て起業家です。ですので、独立開業志望の方の参考になると思います。もちろん会社などにお勤めの両立型の方が読まれても参考になる部分はあるかと思いますが、ちょっとピントがずれてくる部分もあると思います。その点をご了承の上で読んでくださると幸いです。